第10回 情報セキュリティマネージャー ISACAカンファレンス in Tokyo

ISACA Tokyo Chapter

リスクの変化とセキュリティマネジメント
～個人情報・サイバー攻撃・クラウドシフト～

企業・組織を取り巻くリスクは、刻々と変化しています。情報セキュリティの脅威、クラウド利用の本格的な拡大といった環境変化に加え、2022年4月に施行される改正個人情報保護法を踏まえた情報管理の徹底も重要な課題となってきています。

今回は、いま注目すべきこれらの分野において最前線で活躍されている有識者をお招きし、知識の獲得、スキルアップを目的に、ISACA東京支部がカンファレンスをオンラインで開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2022年2月19日（土）13:30-17:10

開催形態

オンライン開催
（Zoom Webinarを予定）

CPE

195分のCPEに相当します。
（ISACA継続教育 4CPE相当）

参加申込

https://bit.ly/cismconf10

※上記のリンク先はPassMarket[ヤフー株式会社]のサイトとなり、ISACA東京支部のウェブサイトではございません。当会はリンク先サイトの個人情報の取り扱いには関与しておりませんので、その旨ご理解ください。

参加費用

ISACA東京支部会員 1,500円
後援団体・他ISACA支部会員 2,000円 / 一般 2,500円

お申し込み期限

2022年2月18日（金）17:00

主催：ISACA東京支部
後援：(ISC)2 Japan Chapter
特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）
特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会(JASA)
日本シーサート協議会（NCA）

第10回 情報セキュリティマネージャー ISACAカンファレンス in Tokyo

ISACA Tokyo Chapter

13:30-13:35	開会	開会/ISACA東京支部 よりご挨拶 ISACA東京支部 会長 赤塚 正幸
13:35-14:25	講演1	**個人情報保護評価の意義と実践** **～顔認証、医療情報、行政情報へのPIA(Privacy Impact Assessment)/DPIA(Data Protection Impact Assessment）実例を通しての分析～** 宮内・水町IT法律事務所 水町 雅子 氏
		※ライブでの質疑応答はありません。
14:25-14:30		休憩（5分）
14:30-15:30	講演2	**昨今のサイバー攻撃手法とインシデント対応事例の紹介** トレンドマイクロ株式会社 インシデントレスポンスチーム 日本Region Leader 田中 啓介 氏
		質疑応答（10分）
15:30-15:40		休憩（10分）
15:40-16:00		**米国本部からのメッセージとCISM資格のご紹介** ISACA東京支部 CISM委員会
16:00-17:00	講演 3	**クラウド環境のガバナンス、リスク管理、セキュリティ機能の実装** デジタル庁 Head of Government Cloud 梅谷 晃宏 氏
		質疑応答（10分）
17:00-17:10	閉会	閉会挨拶/アンケート・CPE説明 ISACA東京支部 CISM委員会

13:35-14:25 講演1

個人情報保護評価の意義と実践
～顔認証、医療情報、行政情報へのPIA(Privacy Impact Assessment)/ DPIA(Data Protection Impact Assessment）実例を通しての分析～

概要

個人情報をビジネスで保有・利用しようとする場合、個人情報保護が非常に重要です。個人情報保護の徹底のためには、具体的なビジネスの中で事前にリスクポイントを押さえて対策を講じることが必要です。この点、DPIAはGDPRで一定の場合に義務付けられており、国際的にも広く認識されているPIA/DPIAを実践することで、顧客・従業員・関係者と社内・社外を問わず広く個人情報保護の取組を理解してもらうことが期待できます。本講演ではPIA/DPIAの意義・概要・具体例を解説していきます。

講師

宮内・水町IT法律事務所
弁護士　水町 雅子 氏

略歴
みずほ情報総研にてIT関連業務に従事後、弁護士登録。西村あさひ法律事務所を経て、内閣官房・特定個人情報保護委員会（現、個人情報保護委員会）にてマイナンバーの立法担当官となり、マイナンバー制度、個人情報保護制度の検討に従事。現在は宮内・水町IT法律事務所を共同開設し、情報・ITを中心とした弁護士活動を行う。

14:30-15:30 講演2

昨今のサイバー攻撃手法とインシデント対応事例の紹介

概要

本セッションでは、インシデントレスポンスの概要や攻撃手法などの一般論を改めて振り返った後、実際の被害事例を交えながら昨今のサイバー攻撃（主にランサムウェア）の具体的な手法を紐解き、それらの共通点等を踏まえた具体的な対策方法などをお伝えします。

講師

トレンドマイクロ株式会社
インシデントレスポンスチーム
日本Region Leader 田中 啓介 氏

略歴
2007年に新卒社員としてトレンドマイクロに入社。個人製品及び法人製品のサポート業務を経て、2012年より中央省庁担当のアカウントマネージャとして脅威監視、インシデントレスポンス、対策提言を実施。チームマネジメント業務を経て、現在は特定業種や大企業を中心としたインシデント対応サービスや恒久対策の提案業務、社内エンジニア向けのトレーニング等を実施。SANS:GIAC Certified Forensic Analyst (GCFA)、GIAC Defending Advanced Threats (GDAT),IPA:情報処理安全確保支援士 等を保持。

16:00-17:00 講演3

クラウド環境のガバナンス、リスク管理、セキュリティ機能の実装

概要

クラウド環境に最適化されたガバナンス、リスク管理、セキュリティ機能の実現はコードでの実装や自動化等、従来手法とは異なった考え方も取り入れながら進めることになります。ガバメントクラウドや民間事業者での実装、グローバルでの最新のトレンド等を鑑みながら概要をお話します。

講師

デジタル庁 Head of Government Cloud
梅谷 晃宏 氏

略歴
外資系 IT ベンダーで Linux、オープンソース、セキュリティソリューションの開発に従事。外資系金融機関において APAC地域のオンライン取引システムのセキュリティの実装と運用に従事。2012 年に AWS に入社、AWS Security Assurance Lead, Office of the CISO Japan を担当。2019 年から内閣官房 IT 総合戦略室 政府 CIO 補佐官と民間事業者の CISO、顧問を兼任。2021年9月からデジタル庁 Head of Government Cloudに就任。

資料

配布可能な講演資料は2022年2月上旬頃を目途に、ISACA東京支部ホームページ上で公開いたします。

https://www.isaca.gr.jp/cism/cismconf2022.html

お知らせ

- セミナー講師、講演タイトル、内容等は、都合により変更させていただく場合がございます、ご了承ください。
- お申込みに際してお伺いしたお名前・メールアドレス等の個人情報は、本カンファレンスの中止や延期の連絡、次回の開催案内に使用させていただくことがあります。

CPE証明

CPE証明については、セミナーの中でご案内します。
195分のCPEに相当します（ISACA継続教育 4CPE相当）。

お問い合わせ

cism-conf@isaca.gr.jp（ISACA東京支部CISMカンファレンス担当）

※本カンファレンスはサイバーセキュリティ月間関連イベントです

内閣サイバーセキュリティセンター（NISC） 2022年サイバーセキュリティ月間
https://security-portal.nisc.go.jp/cybersecuritymonth/2022/